

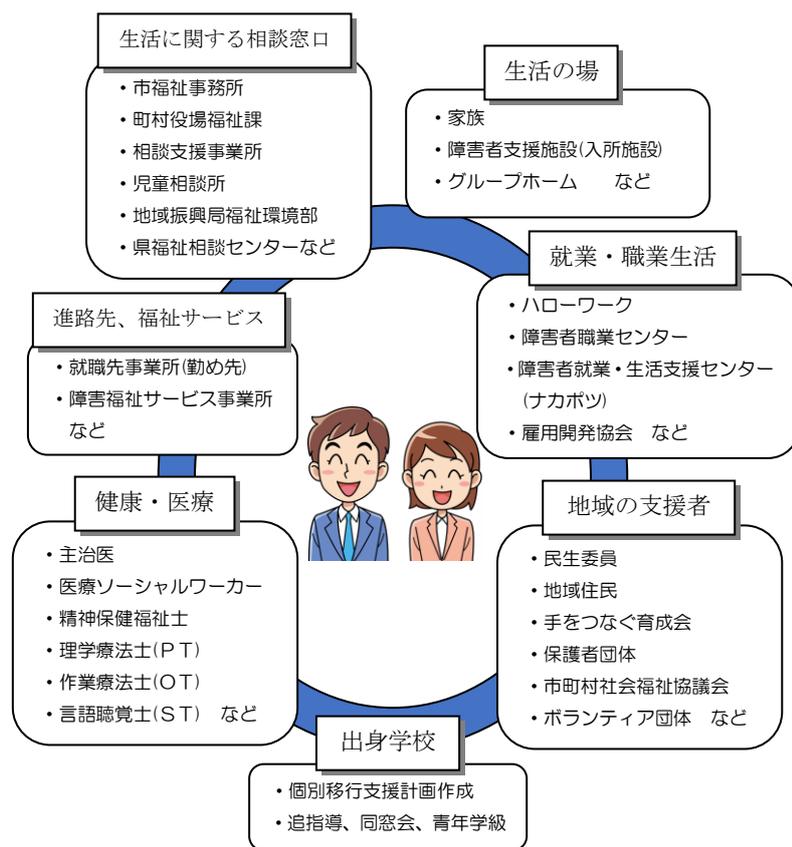


移行支援ネットワーク会議で卒業後の進路希望を発表

7月7日（水）に高等部3年生と保護者を対象に、「第1回移行支援ネットワーク会議」が行われました。高等部3年生は、卒業と同時に、学生生活から社会生活に「移行」します。この会議は、その移行期に自分たちを応援して下さる関係機関の役割を知ることや、福祉や労働等の関係者に自分たちの進路希望を知っていただくことをねらいとしています。

卒業後に地域で社会参加するためには、来校して下さった福祉や労働の関係者の方々のような「地域の応援団」の協力が必要となります。今回の会議は、「地域の応援団」のネットワーク作りのための貴重な機会となりました。

移行期から卒業後の生活を支えるネットワーク



会議に参加していただいた関係機関は、次のとおりです。

- 行 政** : 湯沢市福祉保健部福祉課、羽後町健康福祉課
- 相談支援事業所** : やまばと園、ぱあとなあ、松風、ワークセンターゆざわ、愛光園、湯雄福祉会、カメラーデン、皆瀬更生園、ひばり野園
- 労 働** : 湯沢公共職業安定所（ハローワーク湯沢）
湯沢雄勝障害者就業・生活支援センターぱあとなあ（ナカポツ）

第1回 進路希望調査 より

今回は、第1回進路希望調査で保護者の皆様からいただいた疑問、質問の中から、多かったものについてお答えしていきます。

小学部

Q.卒業後の日中はどのように過ごしていますか？

A.福祉サービスの「生活介護」利用の場合、軽作業を行ったり、趣味や体力づくりを行ったりしています。福祉サービスの「就労継続支援B型」利用の場合、ポリパック結束作業や、機械組立作業、農作業などの仕事をしながら働く力を日々高めています。「B型」は、就労するためのトレーニング施設というイメージです（※福祉サービスは他にも様々あります）。一般就労をした場合、出勤日がシフトによって決まり、休日も変わってきます。



高等部前期実習の様子より
福祉施設の就労サービスでは、農作業やポリ
パックの結束等をさせていただきました。

中学部

Q.一般就労の職種はどんなものがありますか。

A.製造業、老人介護施設、スーパーマーケットのバックヤード、清掃業、自動車工場など様々です。高等部での実習で様々な職種を体験し、自分に合う仕事について学習しています。

Q.卒業生がどんな場所で生活をしているのか知りたい。

A.自宅で家族と暮らし、福祉サービス事業所に通所する方、職場に通勤する方、グループホームや入所施設を利用して家族以外の方と生活をする方など、それぞれのニーズに応じた様々な生活スタイルで暮らしています。また、普段は自宅で生活している方でも、数日～短期間利用できるショートステイを利用している方もいます。

高等部

Q.コロナ禍での実習を進める上で例年と違ったことはありますか？

A.今年度の6月に行った高等部前期実習では、コロナ禍のため、例年と違って実習の受入れが厳しい、受入れができないという事業所が大変多くありました。今後も、例年どおりにはいかないこともあると予想されます。状況把握、情報収集をしっかり行いたいと思います。



Q.どんな福祉施設、障害福祉サービスがありますか？仕事や活動の内容が知りたいです。

A.同じサービス名（「生活介護」や「就労継続支援B型」など）でも、施設によって活動内容は様々です。現場実習でもよくお世話になる、「就労継続支援B型」の施設では、ポリパック結束作業が中心の施設や、農作業が中心の施設、室内での組立作業や分解作業が中心の施設、パソコンデータの打ち込み作業をしている施設もあります。実際に見学をしたり、実習などで体験したりすることでより具体的な活動内容を知ることができます。

今年度も福祉利用ガイドを発行予定です。様々なサービスの利用方法、サービスの内容など、詳しく紹介しています。「読んでみたけれどよくわからない。」「もっと詳しく知りたい。」等、いつでも質問、ご相談を承ります。

